

全国ルール統一研修会・競技部

2025 競技運営規程より

※ 赤文字がルール研修会で 2025 変更箇所 ※青字は常任委員会での補足箇所

1 大会競技役員

現行 2.2b 参加チームのプレイヤー、役員を大会の競技役員に指名することはできない。

改定案 2.2b 参加チームのプレイヤー、役員を競技役員に氏名することはできない。但し、6人制の大会及びマスターズジャパンカップにおけるアンパイアを除く。

目的→過密な大会日程への対応及び、多くの競技役員を必要とする大会運営を円滑に行えるようにするため。

2 参加申込

現行 3.4 d ベンチに入ることを希望するヘッドコーチ、アシスタントコーチ、フィジオセラピスト、ドクター、部長等がいればその氏名。フィジオセラピストまたはドクターの代わりに手当とする者を登録することができる。手当とする者は、大会開始日に 20 歳以上でなければならない。

改定案 3.4 d ベンチに入ることを希望するヘッドコーチ、アシスタントコーチ (複数名可)、フィジオセラピスト、ドクター、部長、監督代行、その他チーム役員等 (参加申込時に登録できる最大人数については、別途大会運営規程にて定める)がいればその氏名。フィジオセラピストまたはドクターの代わりに手当とする者を登録することができる。手当とする者は、大会開始日に 20 歳以上でなければならない。

目的→各試合での適切なスタッフ配置を行い、チームのパフォーマンス向上を図るために参加申し込み段階での登録可能者の拡大。各大会における最大登録人数は大会運営規程にて定める。

3 チーム代表者会議

現行 4.2 d JHA 行動規範確認書。(電子メールによる PDF での提出を原則とする。)

改定案 4.2 d JHA 行動規範確認書。(電子メールによる PDF での提出を原則とする。また大会実施要項に下記 の記載がある場合を除く) 「参加者(チーム、競技役員、大会関係者)は、(公社)日本ホッケー協会が定める諸規程を熟知し、その内容に同意の上、「行動規範確認書」を提出したものとみなします。違反した場合には、懲戒処分を受ける可能性があり、参加者は、自身の言動について責任を負うものとします。」

目的→各大会における事務作業の低減

※ 全中や 11 人制大会には大会要項に記載する方向。

4 スターティングリスト(試合のチーム構成)

現行 5.2 f 手当する者(最大2名)。手当とする者にはフィジオまたはドクターを指名できる。また、手当 する者には、試合に出場する最大 18 名のプレイヤーと監督を除く

者(プレイヤーを含む)を指名できるが、大会開始日に20歳以上の者でなければならぬ。JHA行動規範確認書。(電子メールによるPDFでの提出を原則とする。)

改定案 5.2 f チーム医療スタッフ(フィジオまたはドクターの最大2名)。チーム医療スタッフが不在の場合には、手当てする者をチーム医療スタッフの代わりとして最大2名、
手当てする者には、試合に出場する最大18名のプレイヤーと監督を除く者(プレイヤーを含む)を指名できるが、大会開始日に20歳以上の者でなければならぬ。

目的→チーム医療スタッフの位置付けの明確化

5グリーンカード(2分間の退場)

現行 3.1 e 退場時間は、プレイヤーが指定された場所に着席した時点から計時する。

改定案 3.1 e 退場時間は、プレイヤーが指定された場所に着席した時点から計時する。プレイヤーが指定された場所に着席中に、さらにグリーンカードを提示された場合、上記 a で最初に示された時間に追加され、最初の出場停止の終了後直ちに追加された2分の計測を開始する。

目的→一時退場中に同一プレイヤーに追加でカードが提示された場合の取り扱いについて明確化

6イエローカード(一時退場)

現行 4.1 f 退場時間は、プレイヤーが指定された場所に着席した時点から計時する。

改定案 4.1 f 退場時間は、プレイヤーが指定された場所に着席した時点から計時する。プレイヤーが指定された場所に着席中に、さらにイエローカードを提示された場合、上記 a で最初に示された時間に追加され、最初の出場停止の終了後直ちに追加された時間の計測を開始する。

目的→一時退場中に同一プレイヤーに追加でカードが提示された場合の取り扱いについて明確化

7ペナルティコーナークロック

※U15部会は40秒の計測はしない。

現行 5.2 ペナルティコーナーが与えられたとき上記 2.1 f に基づき試合時間は40秒間停止される(守備側プレイヤーのフェイスマスク、保護用グローブ、膝あて等の着用の時間として)。アンパイアは両チームに40秒の経過が近づいていることを必要に応じて伝える。40秒経過時にアンパイアは笛を吹いてペナルティコーナーの開始を合図する。両チームの準備ができていれば、40秒経過前であっても笛を吹いてペナルティコーナーの開始を合図する。笛の合図により試合時間の計測が再開される。

改定案 5.2 ペナルティコーナーが与えられたとき上記 2.1 f に基づき試合時間は40秒間停止される(守備側プレイヤーのフェイスマスク、保護用グローブ、膝あて等の着用の時間として)。すべての守備側プレイヤーは顔面または頭部全体を保護するフェイスマスク

を着用する。ペナルティコーナーをアンパイアは両チームに 40 秒の経過が近づいていることを必要に応じて伝える。40 秒経過時にアンパイアは笛を吹いてペナルティコーナーの開始を合図する。両チームの準備ができていれば、40 秒経過前であっても笛を吹いてペナルティコーナーの開始を合図する。笛の合図により試合時間の計測が再開される。

目的→守備側プレイヤー頭部へのボールによる重篤な負傷を予防するために、現在義務となっていないフェイスマスクの着用を義務化。

※フェイスマスクのみ義務化。また、パワープレー時は5つ(11人制)のフェイスマスクが必要。

※U15 部会では、万が一忘れた場合など理由書を提出するようになる方向。

8ペナルティコーナークロック

現行 5.4 遅延行為があった場合は、当該プレイヤーに個人的罰則を科す(グリーンカード)。たび重なる遅延行為には更に重い個人的罰則を科す(イエローカード)。

改定案 5.4 遅延行為があった場合は、当該プレイヤーに個人的罰則を科す(グリーンカード)。たび重なる遅延行為には更に重い個人的罰則を科す(イエローカード)。但し、40秒を超えた理由がフェイスマスクなどの防具を探す目的等、安全を優先するための行為で有った場合は故意の遅延行為とはみなさず、個人的罰則を科さない。

目的→プレイヤーの安全を第一とするため、防具の着用(前回のペナルティコーナーによる防具の散乱を原因とする)について適切な時間の配慮を行うため。

2025 ユニフォーム規程

1)フィールドプレイヤーのユニフォーム

2.5 ユニフォームの袖の長さ、襟の有無の制限はないが、試合を通じて全員が同じ仕様のユニフォームを着用しなければならない。長袖、半袖、袖無し of ユニフォームの選手が混在していても良い。また、スコートタイプ、パンツタイプのユニフォームの混在を認めるが、同色かつ同一デザイン の混在に限る。(赤字の部分を追記)

2) 都道府県名等

8.1 所属都道府県名の記載(都道府県名又は都道府県のロゴマーク)

a 都道府県名の表示は任意とする。

都道府県名を付する場合の場所及びサイズは、次のとおりとする。

a.1 シャツ

場 所：原則袖のどちらか一方又はシャツに表示したチーム識別標章の周辺の 1 カ所のみ配置

サ イ ズ：50 cm²程度

3) スポーツクラブ名 申請書の提出の要

9. スポーツクラブ名等の表示

9.1 スポーツクラブ名又はスポーツクラブのロゴマーク

a スポーツクラブ所属チームのスポーツクラブ名又はスポーツクラブのロゴマークの表

示は任意とする。スポーツクラブ名又はスポーツクラブのロゴマークを付ける場合の場所及びサイズは、次のとおりとする。

α.1 シャツ(スポーツクラブ名かスポーツクラブロゴマークのどちらか一方)

場 所： スポーツクラブ名の場合は、袖のどちらか一方又はシャツ前面か背面の 1 カ所のみ配置。ロゴマークの場合は、原則袖のどちらか一方又はシャツに表示したチーム識別 標章の周辺の 1 カ所のみ配置

サ イ ズ： スポーツクラブ名 300 cm²程度

ロゴマーク 50 cm²程度

9.2 スポーツクラブ名等を掲出する場合は、大会開始日の3日前までに表示する図柄、大きさ、位置を主催者に申請しなければならない。

9.3 主催者は、競技運営に支障が出る等の正当な理由がある場合は申請を却下することができる。

【その他】

・公認試合球に、「セルフ・ウェットイング規格」という種類が追加。

→フィールドをドライ状態で使用するとき限定される。

・国民スポーツ大会における選手の背番号

現 行： 選手の背番号は、1～13番とし、選手を兼務する監督は、14番

改訂案： 選手の背番号は、1～18番とする。

理 由

・ブロック予選の背番号をそのまま登録できる。

・ユニフォームサイズにより布やテープで貼り付けているが、見栄えが悪くテープの場合には試合中にテープが剥がれてしまうことがある。

※ 2024年度競技運営規定の改定より

6 チームの服装、装具、カラー

■改定：

6.2 試合中にプレイヤーが着用するその他の衣類は着用しているユニフォームと同じ色でなければならない。ヘッドバンド及び汗止めのリストバンドは相手チームのユニフォームと違う単色(但し蛍光色は除く)であればよい。

■補足：

相手チームと色が混ざり視認性の低下(ライブ配信等)を防ぐ。高校生以下の大会で鉢巻等に学校名等が入っているものについては、大会運営規定で定めるか、TDの判断により許可しても問題ない。